



響

校長講話

▷69◁

永池 啓子

横浜市立白幡小学校校長

他者に対する優しさや思いやりは、古今東西問わず、人間として最も大切な根っこ

として見る人も見かけます。

◇

です。心の教育として、「いたわり」や「他人の痛みを感じる心」を子どもたちが日々つくり上げていけるようにと願う話です。

元PTA会長の〇〇さんから伺ったお話です。4年前の東日本大震災の時に〇〇さんは会社にいらしたそうです。大きな揺れが収まり、ビルの窓から恐る恐る外を見ると、

「した」と、話してくださったました。例えば、すれ違う人とぶつからないように互いが譲り合っ

日本の伝統的な文化や考え方を題材にすると、先人

先人たちの知恵

る習慣として先人たちが残し続けてくれたものです。

たちの知恵から学ぶことができます。講話を契機に全校で一気に取り組むと、学校が変わってきたことをみんな実感できます。

目の前の大きな四差路（十字路）の交差点は信号機が全て使えなくなっていました。その

日本だけではありません。インソップ物語の「二匹のヤギ」のお話などもそうです。「譲り合い」「思いやり」に関わ

「近頃、随分減って良くなってきた」と思うことの「一つに、階段や廊下でのけががあります。しかし、まだ廊下を広がって歩いている人や、車のよ

「日本の中には、私たちが普段意識をしていないけれども、先人から受け継いできた優れた習慣や心というものがあ

るなあと強く心を打たれました。もう一度その価値をみんなで考え取り組んでい

うに猛スピードで走り去ろう